

# 将来を見据え、一歩先へ!

お客さまや社会に新たな価値をお届けできる企業グループとして  
たゆまぬ前進を続けてまいります



取締役会長  
**八木 誠**

取締役社長  
**岩根 茂樹**

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜わり、厚く御礼を申し上げます。

当社第95回定時株主総会に際しまして、ご多用のところご出席賜りましたみなさま、また、書面などにより議決権をご行使いただきましたみなさまには、重ねて御礼を申し上げます。

## 2018年度連結決算は増収減益 年間配当は50円といたしました

2018年度の連結収支につきまして、売上高(営業収益)は3兆3,076億円、経常利益は2,036億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,150億円となりました。(詳細は6頁に記載)

2018年度の期末配当につきましては、業績が4期連続の黒字となり、財務体質が改善しつつあることや、2019年度以降の収支状況など、経営環境を総合的に勘案し、1株当たり25円といたしました。これにより年間配当金は、中間配当25円と合わせて、1株当たり50円となります。

## 関西電力グループ 中期経営計画(2019-2021)を策定しました

当社グループは、本年3月、「関西電力グループ中期経営計画(2019-2021)」を策定しました。

わが国社会は、今後、2030年代に向けて、社会課題、環境性、技術革新の3つの観点で劇的な変化が進むと考えられます。当社グループは、こうした変化に対して、

エネルギー分野にとどまらずあらゆる領域でしっかりと向き合っている所存です。そして、これまで培ってきた強みを発揮して、新たな価値を創出することで、エネルギー分野における日本のリーディングカンパニーとして、あらゆる人とモノが繋がる未来社会において、その繋がりを支える役割を果たし、お客さまと社会のお役に立ち続けてまいります。

まずは、引き続き、安全最優先と社会的責任の全うを経営の基軸に据えて、安全・安定供給の責務を果たし、経営基盤の強化に取り組んでまいります。

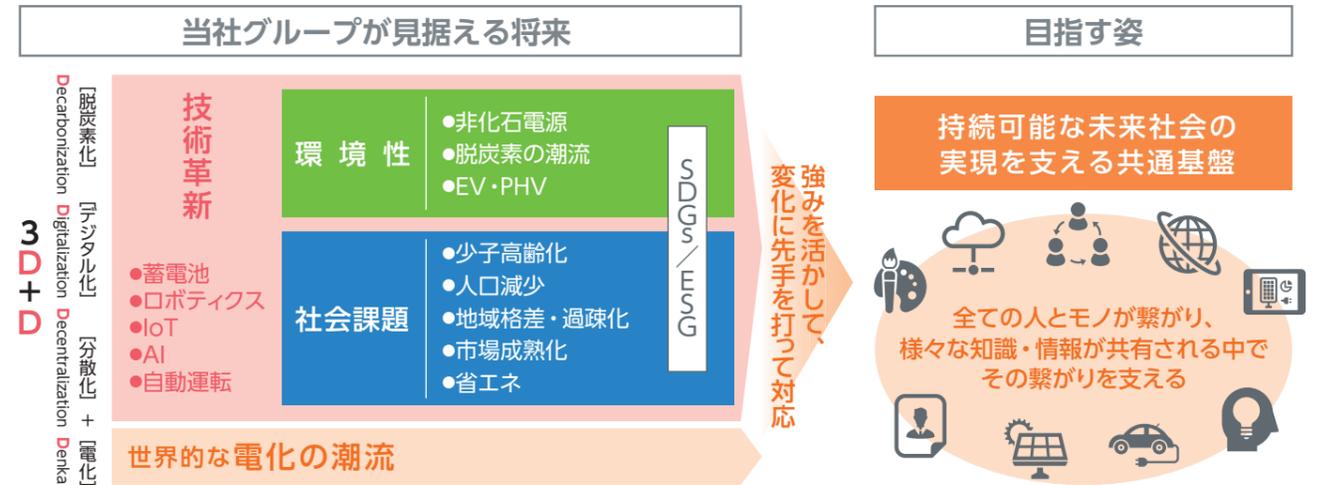
そのうえで、低炭素のリーディングカンパニーとして原子力と再生可能エネルギーを両輪に、低炭素電源の積極的な活用をすすめ、環境負荷の低減に取り組んでまいります。また、安心・快適・便利で経済的なエネルギーサービスのお届けや、グループ総合力を活かした新たな事業・サービスの創出により、お客さまや社会の多様化するニーズにお応えし、幅広い課題の解決に貢献してまいります。さらに、こうした取組みを推進する原動力として、デジタル技術の活用による企業変革を進めてまいります。

あわせて、来年4月の送配電事業の法的分離に対しても、円滑に実施できるような的確に対応する所存です。

当社グループは、この新たな中期経営計画を着実に実行することで、収益の拡大と企業価値の増大を図り、株主のみなさまのご期待にお応えできるよう全力を尽くしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 関西電力グループ中期経営計画(2019-2021)



■具体的な取組みの方向性 安全最優先・社会的責任の全う を経営の基軸に位置づけ、安全・安定供給の責務を果たすとともに、経営基盤の強化に取り組むことを前提に

1 低炭素のリーディングカンパニーとして、気候変動問題への対応をはじめ、環境負荷の低減に取り組みます。



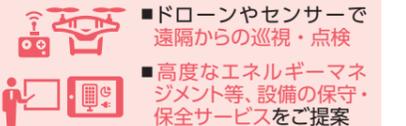
2 これまで培ったソリューション力を活かして、安心・便利・快適・経済的なエネルギーサービスをお届けします。



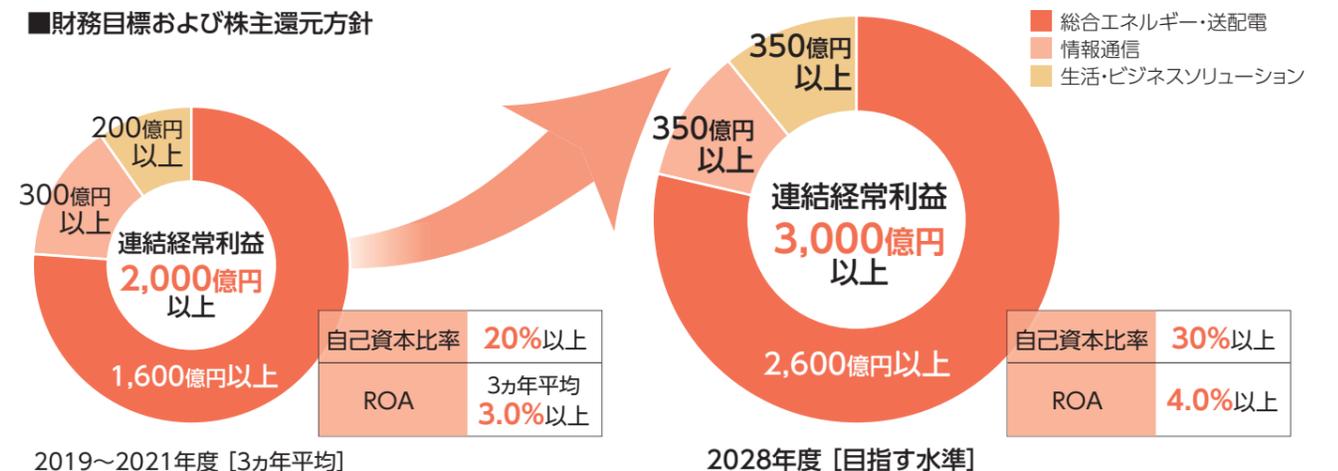
3 グループ総合力を発揮して新たな事業・サービスを創出し、お客さまや社会の幅広い課題の解決に貢献します。



4 新たな価値の創出に向けて、デジタルトランスフォーメーション(DX)を実現します。



### ■財務目標および株主還元方針



#### 株主還元方針

当社は関西電力グループとして企業価値の向上を図り、株主のみなさまに対して経営の成果を適切に配分することを基本とし、財務体質の健全性を確保した上で、安定的に配当を実施することを株主還元方針としております。